局所進行膵がんに対する超音波内視鏡下光線力学療法

　局所進行膵がんに対する超音波内視鏡下光線力学療法を１２例に施行し、うち４例で腫瘍の抑制効果、１例において腫瘍の縮小効果が確認され、Gastrointestinal Endoscopy 誌に報告されました。

方法は、超音波内視鏡を使って、膵癌に直接針を刺し、その針穴から 630nm のレーザー光線を照射するというもの。照射の２日前から porfimer sodium という光感受性を上げる物質を静脈から投与します。

超音波内視鏡下光線力学療法は、膵癌の治療における新たな選択肢となる可能性が期待されています。